「南フランスのバカンス」へのお誘い

夏の間は雲一つない快晴がつづき、まぶしい陽光が降り注ぐ。大地にはオリーブ畑が広がり、海はどこまでも紺碧。地平線まで広がるラベンダー畑・・・と豊かな自然に恵まれる一方、歴史は古代ローマから連綿と続き、素朴な田舎であるのに、気品も感じる街々。のどかさと高貴さ、シンプルライフとラグジャリーが同居するフランスのプロヴァンス・コートダジュール地方は、「世界最高のバカンスの地」と言っても言い過ぎではありません。人々の人情は厚く、かつ押しつけがましくないのも、バカンスにやってくる旅人たちにとっては快適、昔から多くの芸術家がその魅力に魅了されてこの地にやってきました。

太陽と地中海と大地、そして歴史と人に恵まれたこの楽園での「バカンス気分」をお届けしたくて、フランス人作曲家を中心にコンピレーションアルバムを制作しました。ぜひ、これらの音楽を聴いて、南フランスのバカンスの楽園でくつろいでいる気分になって下さい。

本田　聖嗣

1.ドビュッシー　牧神の午後への前奏曲
ベルギー放送フィルハーモニー管弦楽団　アレクサンダー・ラハバリ（指揮）
せわしなく忙しい日常の都会、ふとバカンスに思いを馳せます。ヨーロッパは緯度の高い北の地域が多いので、バカンス、といえば、まず南へ行くこと。北フランスやドイツの人々はいつも地中海へあこがれている・・といっても過言ではありません。首都パリ近郊、サン・ジェルマン・アン・レー出身のドビュッシーがつづった、近代管弦楽の名曲、「牧神の午後への前奏曲」で、バカンスへの幕が開けます。ギリシャ神話の世界を描写したこの曲を聴けば、すでに気分ははるか南へ飛んでゆきます。

2.アルカン　鉄道
ローラン・マルタン（ピアノ）
近代フランスで「バカンスといえば地中海」ということになったのは、鉄道の発達によるところが大きいのです。それまでの北フランスの庶民にとって約 1000 キロ南の南仏の地はあまりにも遠いものでしたが、鉄道という大量輸送手段ができてからは、はるかにリーズナブルに、楽に、行くことができるようになったのでした。ショパンの盟友でもあったアルカンの超絶技巧ピアノ曲、「鉄道」に乗って出発です。

3.ディーリアス　小管弦楽のための 2 つの小品 - II.川辺の夏の夜

ロイヤル・スコティッシュ・ナショナル管弦楽団　デイヴィッド・ロイド＝ジョーンズ（指揮）

イギリス出身で、人生の後半をフランスのパリ郊外で過ごした作曲家、フレデリック・ディーリアスの代表曲、「小管弦楽のための 2 つの小品 第 2 番　-川辺の夏の夜」を聴けば、パリ郊外のセーヌ川の川べりの情景が思い浮かびます。フランスの街は、ほぼすべて川沿いに発達していますが、川は季節ごとに表情を変えます。北フランスの夏は短いものですが、それでも、河畔には夏がやってきています。

4.カントルーブ　オーヴェルニュの歌 第 2 集 -ラントゥエノ

ヴェロニク・ジャンス（ソプラノ）　ジャン＝クロード・カザドシュ（指揮）　リール国立管弦楽団

フランスは大変平坦な、平地の多い国ですが、北フランスから南へ行く途中、中央山塊のオーヴェルニュ地方を通ります。そこは、山と高原の土地・・古より厳しい自然に耐えてきた地方でした。冬は大変厳しい気候ですが、夏はさわやかさを感じることのできる土地をカントルーブ「オーヴェルニュの歌 第 2 集 第 2 曲　-アントゥエノ」で感じてください。しかし、気分は南フランスへまっしぐら！

5.ミヨー　プロヴァンス組曲 Op. 152d - I.アニメ

6.ミヨー　プロヴァンス組曲 Op. 152d - VIII.ヴィフ

リール国立管弦楽団　　ジャン＝クロード・カザドシュ（指揮）

南フランスといえば、まずプロヴァンス地方ですが、オリーブが名産のプロヴァンス地方の入り口で、エクス・アン・プロヴァンス出身のダリウス・ミヨーが迎えてくれます。「プロヴァンス組曲 Op. 152 第 1 曲　-アニメ　第 7 曲　-ヴィフ」と続く 2 曲が、プロヴァンスの太陽を感じさせてくれます。

7.プーランク　シテール島への船出

フランソワ・シャプラン（ピアノ）　　アレクサンドル・タロー（ピアノ）

底抜けに明るい、快活なプロヴァンス人ミヨーの親友に、同じ 6 人組の仲間のプーランクが居ました。彼はパリの中心生まれのパリ育ち、生粋のパリジャンですが、ミヨーのプロヴァンス的キャラクターをとても愛し、自らも快活な音楽をたくさん書きました。ドビュッシーの「喜びの島」と同じモチーフの 2 台ピアノのための曲「シテール島への船出」で、バカンスに出るウキウキ気分を味わい・・・

8.プーランク　ピアノと木管のための六重奏曲 -第 3 楽章

フィリップ・ベルノルド（フルート）　オリヴィエ・ドワーズ（オーボエ）　ロナルド・ファン・スペンドンク（クラリネット）　ローラン・ルフェーヴル(ファゴット）　エルヴェ・ジュラン（ホルン）　アレクサンドル・タロー（ピアノ）

続いて、コミカルなキャラクターの「ピアノと木管のための六重奏曲 FP.100　第 3 楽章」で、「プロヴァンスにやってきた北フランスの人」の気分を体験してください。楽しみたいのだけれど、彼は、少しはにかんでいるようです。

9.シャブリエ　田園組曲 - III. 木の下で

モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団　　エルヴェ・ニケ（指揮）

フランスの田園系作曲家、シャブリエは、もともと出世作が、脱サラ旅行のスペイン滞在を音楽にした「エスパーニャ」でした。彼の作品には、いつも自然が感じられます。「田園組曲 第 3 曲　-木陰で」を聴いて、南仏の強烈な日差しの中、木陰で一休みする気分になってください。

10.フルメリ　フルート、ハープ、弦楽のための牧歌 - II. ガヴォット

サラ・リンドロフ（フルート）　スウェーデン室内管弦楽団

ペッテル・スンドクヴィスト（指揮）

フランスで学んだこともあるデンマークの作曲家、グンナル・デ・フルメリーの「フルート､弦楽とハープのための田園組曲　第 2 曲　-ガヴォット」では、南フランスのとある街角で踊られている踊りが見えます。ガヴォットは後に宮廷舞踊の 1 つとなりますが、本来の起源はフランス南東部、コートダジュール地方に隣接するドーフィネ地方の民衆の踊りなのです。ちなみに、この地方は第 2 次大戦中、もっともレジスタンス活動が盛んな地域でもありました。北には負けない、南の誇りが南フランスには常にあります。

11.セヴラック　休暇の日々から - VIII.ロマンティックなワルツ

ホルディ・マソ（ピアノ）

南フランスといっても、地中海沿岸ではなく、ピレネー山脈のふもと、ラングドック地方出身のデオダ・ド・セヴラックは、地中海側とはまた違う素朴さを持つこの地方に根差した曲を書き続けました。その名も「休暇の日々から 第 1 集　第 7 曲　-ロマンティックなワルツ」を聴いて、ピレネー沿いの土地の土のにおいを嗅いでください！

12.ルーセル　バッカスとアリアーヌ　第 1 組曲 -若い男と乙女の遊び

ステファヌ・ドゥネーヴ（指揮）　　ロイヤル・スコティッシュ・ナショナル管弦楽団

イギリスほどではないにせよ、国外に権勢を誇ったフランスには、船にゆかりのある作曲家もいます。中でももともとフランス海軍に籍を置いたルーセルは、その経験を活かして、遠く中国の題材などを扱っています。彼の代表曲「バッカスとアリアーヌ 第 1 組曲 -若い男と乙女の遊び」を聴いて、海のフランス、を感じてください。南フランスのバカンスに、海は、欠かせません！

13.ラヴェル　ダフニスとクロエ -第 3 部 クロエは若いニンフの代わりに大草原を彷徨う

フランス国立リヨン管弦楽団　準・メルクル（指揮）

フランスを代表する作曲家、モーリス・ラヴェルは、ゆかりの海といったら彼の故郷である大西洋なのですが、ここでは、ギリシャのロンゴスが原作の「ダフニスとクロエ」から「第 3 部　-クロエは若いニンフの代わりに大草原を彷徨う」をチョイスしました。ラヴェルの「南へのあこがれ」は、このバレエ音楽や、歌曲集「5 つのギリシャ民謡」や「マダガスカル島島民の歌」などに聴くことができます。この曲の舞台設定はギリシャの大草原かもしれませんが、南フランスのプロヴァンスに広がるラベンダー畑や、地中海沿岸の入り江の情景にもぴったりです。やっぱり、ラヴェルはすごい！！

14.ドビュッシー　前奏曲集 第２巻 -ヒースの茂る大地

本田聖嗣（ピアノ）

ドビュッシーの情景描写は控えめなため、各曲の冒頭ではなく、末尾に題名が書かれているピアノのための「前奏曲集」ですが、その中から、のどかな自然の風景が感じられる「ヒースの茂る台地」を私の演奏で１曲チョイスしました。本来は北部ノルマンディー地方がモデルかもしれませんが、少年時代、カンヌに暮らしたことのあるドビュッシーにとっての「自然」の中に、南フランスの情景がいくばくか入っていることもありえる、と思っております。

15.ドビュッシー　交響的素描「海」-III. 風と海の会話

フランス国立リヨン管弦楽団　準・メルクル（指揮）

プロヴァンス・コートダジュール地方にとって、主役はやっぱり「海」。海は、古来から人と、交易といった恵みをこの地方にもたらしてくれ、時には、海賊などの災厄ももたらしました。それらがすべて「歴史」となって、この地方の奥深さを形作っているのです。近年の「リゾート開発」などでは到底追いつかない、「真のバカンス」をもたらしてくれるのは、すべて海の恩恵。このアルバムの最後には、ドビュッシーの「交響的素描「海」 から最終楽章である「第３楽章　-風と海の会話」がふさわしい！と当初から考えておりました。

16.バックス　地中海

アシュリー・ウォス（ピアノ）

・・・・・とは言うものの、海の迫力に押されるだけでは、真のリラックスした「バカンス」は味わえません。アンコール的トラックとして、ドビュッシーより 21 歳年下のイギリスの作曲家、アーノルド・バックスの小粋なピアノ曲「地中海」を付け加えました。この曲を聴けば、プロヴァンス地方に住んで、この地方の魅力を皮肉とともに書き綴り、全世界にプロヴァンス・ブームを巻き起こしたピーター・メイルの気分になれます？！

それでは、皆様、Bonne Vacances!!　（良いバカンスを！）

OTTAVA クラウドファンディングによるコンピレーション CD プロジェクト
第 3 弾にご参加頂いた方々（順不同）

ミケ
彩の国のNob
チャルムッシュ
増田和代
ルシア
S.H.
にゃんごろー
こてつのママ
PAKU
「ひ」
KashmirBlue
ウマウマ
さびしがりやのひまわり
lucy-martin
ロング・クレヨンしんちゃん
florena
KAORU
西川　かず菜
彷徨える台湾人
レイラニ
横浜のコアラ
アレテ
う～にゃ＆ママ＆パパ
アダー
ピンキーリング
チュリッピーの
トカゲ印のパーン
ジョー
どれみふぁソラソラ
青空マーチ
アフ&ゆきの嫁
寺岡文男
hamamasa
ママリン
ソルティードッグ
山でコーヒー
ミセス・マープル
Panko
国境の南
アイラブ☆プルシェンコ
kalmia
にわか笛吹ランナー
アズキ色
積貴子さま
みおのはは
こけっこまりこ
イワン・モリエフスキー
富本 広一
じんぺい
ツインズEM
星のおじいさま
キャラメル小僧
アンダンテみどり
のり
せいうち
シャコンヌ
堅香子
カジヤン
Hiro.

嶋田　等
きよち
板垣奈穂
大森敏秀胃腸科クリニック
ビバのん。
ジュンボウ
スモールキャット
生レバ
OTTAVAを愛する元乙女
ぶーちゃんママ
くりくり坊やのゆうちゃん
のら
yu
よっしー
森の小人
まつもと ようこ
中村圭一郎
Chris
MINOR KING
喜島　顕
井上益三
ひまたろう
関　孝徳
ふうらん
鎌形　美輝雄
田中克弥
うに
うみしま＆うみぐま
松山 典正
絵描きパンダ
コワクリ
津村　知江
京都のにゃんもにゃいと
kashy
ゆうちゃん
PiyoSys.
あったかソォダ
pure
町火消し
福田将大
須藤崇
えこた
Y.KAYAMA
河本重春
MR gaugei
生駒のY
カラベル
まきうさぎ
うさぎのマーチ
pienadigratia
おかだゆり
kyuchan7
トムトム
眠りの森のしげる
ルッパラ
ユカワ
しゅんぼん
うらがだぬき
nahema

長元坊
星空
大迫康紘
飯田橋
Tayama Noriko
ファーストグリーン
ひゅうが
hime
ウェルチ
Clara Mochizuki
Kパパ
ヴォルフィツキー
さんどばた
バフロール
ガンバリスト
きっち
橋川 雪葉
baashha
yori
テンテン
タカオ
桃
あに1ごう
くらにゃんこ
markun
kohi
しりとり3兄弟の母
水戸 稲郎
チャイ子ファミリー
秘密のあっこちゃん
寿限無
No.0257
イタノフ
ねりま姫
おさかな
松尾紀子
横浜のびあ
すいか
かっぱ
町田の三毛猫
Gペンギン
Misao in the Kitchen
いろは
桂野 龍太郎
たこわさ
ドミートリ・ウマガスキー
CHIAKI
グラバー
さなぼんファミリー
川のりコロッケ
サイヤ
アルペンザルツ
小舟（こぶね）
mame
maria
葉桜
にゃ～も
yumituku
TARO AZUMA

雨水
パッサカリア
うきゅぴかの父
鈴木修
おふくさん
K.MURAKAMI
Tom Rolland
カギしっぽのKey
堀江勇人
くまぜみ
林 信彦
河野玲奈
Short Cut King
八丸
Masumi
ypatty
山田　慎
松本由起子
嶋津智昭
曽田　京志
ぐりぐらぐりり
安らぎのオッターバ
Hamadeus
ひろりんこ
とみい
Hastings
どんき
和田充弘
どっちっち
菅野知之
パークサイドダイナー
パパゲーナ
じゃーにー
そあり
ももも
どんき
HCAB
5月の枯葉
GO!GO!OTTAVA
マヌー・メイアン
Fumie Shiotani
びでおてっくす
水戸騎士
ike
HIROTOSHI KATO
yoyodori
山上 泰弘
いすみのあおしげ
Edwin Jarvis
ヨジオキ
Sally
こぐまや
番頭
山本 まり子
espressivo
TIAN
ASATO
りりぃ
MASAKI SHIBATA

くまぜみ
レゴレオ
鈴木　好
デンヒル
モヘンジョダロ美
まいにちえがお
たえたえ
ウォルティー
まいち
パンプルムース
M.K.〈マコ〉
かずと
更紗眼鏡
ミラネーゼ
オーチャメ
ITJ
Amenbo Akaina
つっちー
オオハシ ミチヨ
Myy
なぜかあんでぃ
あみちゃん
若林
Antique SHIMAISHA
アートファニチャーギャラリー
オオタユキコ
ですけど
仲谷一族青年会
田廣憲司
どんぐり
よっしー
山本さと子
稲福徳江
小川　覚
えっぽこ
CooPAPA（くうぱぱ）
おやつがかりのむう
戸部　繁樹
新月
るんぴに
Masami Suzuki
浅野 正二
急な雨
Yoshishi
カラ
あんじゅ
ひらゆ
雨のシンガポール　はやし
takao torigoe
daiuchu
Carlo
石井秀幸
まきのすけ
にゃんごろー
北陸のカニ男

ほか多数の方の応援により、CD を制作しました。ありがとうございました。